



新退教通信

No.170

2016.12.1

新退教 新潟県退職職員連絡協議会
Fax 025-281-8146

世界は楕円形



新退教副会長
入澤 稔

スポーツの祭典、リオ・オリンピック、パラリンピックが開催されたこの年、国内外で現代世界の転換になるのではないかと思われるような変化が見られている。

まずは、イギリスの国民投票の結果である。EUの中心的な存在であるイギリスが、なぜ結果として離脱を選択したのだろうか。さらに、憂鬱すべきは、移民排斥を唱える右派政党が台頭している現実であろう。他の欧州諸国にも同様の傾向が見られるという。一方、アメリカはどうなったのだろうか。

支持率が拮抗していたといえ、民主党候補のヒラリー・クリントンを抑えて共和党のドナルド・トランプ氏が勝利し、世界に衝撃が走る結果となった。

アメリカ国内ではどのような変化が生じているのだろうか。トランプ氏が大統領として具体的にどのような政策を打ち出してくるのだろうか。いずれにせよ反グローバル・保護主義的な変化を余儀なくされるだろう。

現代社会を主導してきた自由・民主主義・基本的人権の尊重など価値観を共有する世界のリーダーの変容に、いま、民主主義の真価が問われているといえよう。

このような潮流は、グローバルな視点に立つ政治・経済から、自国内が当面している現実的な諸課題に取り組み転換を要望する世論が背景にある。いずれにせよ、楕円形のポールと同じように転がる方向の予測がつかない。さて、わが国では、衆・参両議院で三分の二議員数を有し、政治的に安定してしまっただ安政権のもと、本丸改憲への動向は、日本の立憲主義と民主主義を危ないものにするのではないだろうか。



健やかに老いる

☆「家族に迷惑をかけたくない」と考える高齢者は少なくありませんが、絆は迷惑のかけ合いから結ばれるものではないでしょうか。：略： 終活で大切なのは、遺族や周りにかけるであろう手間を「迷惑」だと思わせない人間関係を築いておくことです。

小谷みどり

目次

1p	巻頭言	(敬称略)	入澤 稔
2p	女性交流集会		古田セツ子
3p	研修会		岸 公平
4p	支部から		南魚支部 本田 俊夫
			上越支部 小池 洋
			岩船支部 滝沢 武司
			中魚支部 市川 正
			佐渡支部 仲田 善夫
5p	ことぶき講座ご案内		
6p	県囲碁大会、県退職者連合新潟 こんにちは新教組です		石津 真澄
			白井 健元
			松田 朋子
			村山 暁
7,8p	会員の広場		山岸 修

女性交流集会



新退教副会長

古田 セツ子

恒例の「女性交流集会」が、去る10月5日新教組会館にて開催されました。

はじめに、佐藤会長からあいさつと講師紹介がありました。

次に、「女のスペース・にいがた」代表の朝倉安都子様より「男女平等ランキング101位の日本と私たち」という演題で講演をいただきました。参加者



全員が先ず演題にびっくりしました。日本の男女平等ランキング101位はイスラム国等の国々と同レベルだということに更にまた深い衝撃を受けました。そして、日々何気なく過ごしている自分自身を見つめ直し、ジェンダーに対する意識を高めなくてはという思いを強く！強く！いたしました。

続いて、ミニコンサートが開かれました。「夫婦でデュエット」と題し、桑野重人・恭

子ご夫妻様による息の合った歌声！名曲の数々！その美しいハーモニーの響きに我を忘れるひとときでした。

その後、講演を受けての質問タイムとグループディスカッションを行いました。さまざまな質問や意見が出ました。その後、4つのグループに分かれ熱心に話し合いが行われました。

○日々のジェンダーに対する意識改革が大切だ。
○女のスペースにいがたの存在を初めて知った。有り難い相談機関だ。広く伝えねば。

○とても内容のある素晴らしい会だった。等々の感想がありました。

最後に、本日の研修の内容等々を支部会員及び身近な方々に早速伝えよう！広めよう！意識改革をして行こう！を合い言葉に閉会となりました。有り難うございました。

参加者の感想

☆男女平等ランキングに、なるほどと納得。

確かに政治においては男社会、経済も男が優位…。となれば、これから変わるには政治を変えなければだめか？

☆男女平等ランキングを上げる具体策は、他国のように国会議員のクォータ制を導入す

ればよいのでは。もつと女性の政治への進出が増えなければ変わらないと思う。

☆男女平等は難しい問題であり、子どもを産む女性と産まない男性との性差があると思う。各班に分かれての討論は良かった。

☆男女平等ランキング101位の日本とイスラム諸国の順位が近いと知って驚いた。「男らしく」「女らしく」ではなく、「自分らしく」生きていく子どもたち育成のため、自分の足元を見直さなければならない。

○桑野ご夫妻、とても素敵だった。良かった。

○夫婦でデュエットされている姿を見て、とても癒された。歌が好きなので、歌う場に積極的に参加したい。

○百人一首の新曲・子どもから生まれた歌。昔からの「秋の子」等で心が和んだ。



お礼 熊本地震カンパ

総額73万9522円集まりました。ありがとうございました。

新退教研修会

自民党改憲案の違憲性と恒久平和主義

講師 石川多加子先生（金沢大）

新退教副会長 岸 公平

はじめに

「壊憲の現状」

近年の社会状況から、憲法に保障されていることが様々壊されている例が示された。人権の尊重に関することが多かった。危機の一例として、表現の自由が守られない、報道の自由のなさ、情報入手の狭さ、判断ができなくなる状況になっている。

一、人権制限の大幅拡大

「公共の福祉」↓公益及び公の秩序

第三章のみならず、憲法の国民に対する姿勢の基となることの変革。人は生まれながら生きていく環境（経済…）にデコボコがあり、その様々な個人の違いの差を埋める内容が「公共の福祉」であるが、「公益及び公の秩序」



と称するものには社会的弱者救済はなく、時の政権・一部支配者の利益とのみ一致するものになっていく。個より公を優先。個人の尊重を中心とした「天賦人権論」を破棄し、「人権の不可侵性規定」を削除している。

二、象徴天皇制の変質

主権在民原理から天皇を戴く国家（改憲案前文）、そして、「天皇は日本国の元首」。憲法を守る義務者からの天皇の除外。

三、国防軍の新設

前文から第九条に到る「平和主義」の放棄。国防軍の活動や審判所の設置等。秘密保護法、集団的自衛権の承認、戦争法案の強行採決と結びついている。

四、緊急事態（改憲第九条）↑現行法にない

「これをやられたら終り」（戒厳令の復活である）この宣言が出ると、内閣は法律と同じ効力ある政令を好き勝手に出せる。

五、本当に恐ろしい国民

投票法

国民投票公報協議会が公報を独占し、国民運動はきわめて多岐にわたり制限されてしまう。



参加者の感想

☆知らなかったことが多かったと強く感じてしまいました。日本国憲法と自民党日本国憲法改正草案を比べてみてとても勉強になりました。じっくりと読んで、少しでも現内閣の独走を止めたいと思いました。

☆改正案の違憲性について、一つ一つ丁寧に説明していただき、改悪につながる日本の危機状況が具体的に分かりました。願わくは全国民がこのような説明の機会をいただければと思います。良い企画でした。

☆自民党の考えている憲法改悪の恐ろしさを改めて感じました。自分たちにできること、伝えられることを、周囲に話していきたいと思えます。ありがとうございました。

☆ななめ読みしていた新聞や週刊誌を一方的に信用していた見方を反省しています。一つ一つ条文だけでなく、関連づけたものを見方ができるように注意していきたい。

☆来年も、石川多加子先生の「続き」講義をぜひ！（数人）





支部からのたより



ボランティア活動

南魚支部

本田 俊夫



定職に就いているわけではないのですが、スケジュールの組み方に結構時間を割いています。それは、スキーや陸上関係の役員、ジュニアの指導等、十幾つのボランティア活動を担っているためです。これまで、たくさんの人達にお世話になった恩返しの意味で、自分にできるこ

となら少しでも役に立てればという気持ちがあったことが一つです。もう一つは、長年携わってきた教職から脱却できず、指導の成果を味わいたい自分がいることです。

ほんのわずかであれ、コツやヒントを与えたり励ましたりすることで子どもたちも変化します。その笑顔や達成感に触れたくて足が向いてしまいます。余計な口出しをしないよう留意し、喜びを共有したいと思っています。

蚊帳の外でいいのだろうか

上越支部事務局長

小池 洋



支部の事務局を預かって4年が終わろうとしている。退職後のボランティアと割り切りながら支部活動に携わってきたが、すっかりしない自分に腹の立つことが多い。

そんな中、今年は7月の参議院選挙で野党統一候補の勝利に久しぶりに心が高揚したし、10月の県知事選挙の結果には

強い感動を体感することができた。しかし、あくまで個人レベルであって組織としてのかかわりや活動の結果ではない。

新退教支部として私たちは国政や県政にどんななかかわり方ができるのだろうか。本部からの統一署名の取り組みで良しとされていることで何かが変わるのだろうか。戦争法の廃止を求める意見書を総理大臣や衆参両議長に提出した支部もあったことを知り、心から拍手を送りたい。高齢者であつても国政や県政から蚊帳の外にならないように、組織として発信力を高めたいものである。

支部活動を振り返りながら...

村上岩船支部長

滝沢 武司



先輩から任務を引き継いで十数年が経過。その間の活動等を振り返っての雑感。

★ 引き受けた当時約140人の会員が現在100人弱に減少。年々の退職者は一頃に比べると随分多いのですが、新入会員は比例せず、一方、会員高齢化によるご逝去・体調不良等による退会者が多く、年々減少傾向が続いているのが現状です。「組織の数は力」的にも今後の組織や運営に不安が残る、会員拡大の取り組みは最重要課題であり、その大切さを痛感しています。

★ 退職後加入できる団体はいくつもあります。生涯を賭けて取り組み、子供たちとともに歩み育んだ職務と現場を見つめ続け、少しでも支援の一端を担って行こうとする新退教活動の大切さ・有為さに自負と自信を持ち、輪を広げる必要を感じます。

★ 戦後70年を経て教育現場には難しい課題が次々と提起されています。退職後の自分の生活を守るとともに、その課題も我が事として受け止めて行きたいと考えます。

支部活動の更なる充実を



中魚支部長

市川 正

今年度水落徹前支部長の後任として支部長の大役を引き受けさせていただきました。現役を退いてから3年目となりますが、新退教の活動には余り積極的な姿勢を示すことはありませんでした。

今回大役を拝命して、支部の活動内容の一端を知ったり、活動に携わってきた役員の方々の前向きな姿勢に触れることができたりと、諸先輩の方々に改めて敬意を表しております。

現在、当支部の会員数は70名強ですが、これまで各活動の参加者はそんなに多い方ではありません。私は、前支部長はじめ、執行部役員の方々がこれまで築きあげてきた各活動を、更に充実・発展させて行きたいと考えています。

会員数は減少の一途ですが、先輩執行部の方々のお力添えをいただきながら、支部活動の充実を図ってきたいと思えます。



日本ジオパークから世界のジオパークへの活動を支援して

佐渡支部長 仲田善夫

当会は、年1回の研修会「ふるさと探訪」に、佐渡ジオパークを理解するための研修を取り入れ、活動を支援している。

今年度は、講師に元佐渡市教育長でジオパーク推進の発起人である渡辺剛忠さんをお迎えし、午前は国仲・真野・小木半島方面の研修を行った。会員は窓外を眺めながら佐渡島の成り立ち、国仲平野の成り立ちと人々のくらし等を詳しく説明いただいた。

小木半島では、水中火山の産物である枕状溶岩、水中火砕岩、ピクライト玄武岩等の成り立ちと人々の暮らしとの関係の説明を受けた。参加した22名の会員は、時には目を輝かせながら時には不思議そうに聞いていた。

午後からは講師を囲んで懇親会を行った。例年になく女性の参加者が倍増し、大変華やかで盛り上がった懇親会となり、「来年も」という声も笑顔で聞かれた。



〈新退教本部主催「ことぶき講座A～D」ご案内〉

- A 楽しいフラダンス (初級編) ①1/20 (金) ②2/17 (金) ③3/24 (金)
13:30～15:30 講師 赤松範子先生 [持] 体操着 ☆男性歓迎!
- B 楽しい笑いヨガ ①2/20 (月) ②3/17 (金) [持] 体操着
13:30～15:30 講師 古田セツ子先生
- C 囲碁を楽しむ ①2/15 (水) ②3/15 (水) ☆参加者で打ち合う
12:00～16:00 ☆ミニ「初めて碁」 ☆女性歓迎!
- D 確定申告の自主学習会 1/25 (水) 13:30～15:30



[持参] 源泉徴収票、保険料控除証明書、医療費領収書、筆記具・電卓等
◇平成28年中に退職や離職の方は、ぜひ確定申告をしましょう。

*いずれも、◇会場…新教組会館 ◇参加費不要、旅費自己負担 ◇申込方法…開催日10日前までに、葉書かfaxで新退教本部へ(講座名、氏名、電話、支部名を明記)

熱戦！ 県囲碁大会



9月15日、高校会館にて、全国退職教職員
生きがい支援協会との共催による「県退職教
職員囲碁大会」が開かれた。

参加者は、新退教6名・新高退10名の計16
名で、審判長のもと、熱戦が繰り広げられた。
結果は以下の通り。

なお、10月6日に上越市の高陽荘で北陸ブ
ロック囲碁大会が開かれた。

県囲碁大会の結果（敬称略）

○Aクラス（五段格以上）

- 優勝 佐野達哉七段（新高退上越支部）
- 二位 市川 洋六段（新高退新潟支部）
- 三位 澤田芳郎七段（新退教上越支部）

○Bクラス（四〜二段格）

- 優勝 石田欣一四段（新退教上越支部）
- 二位 山岸欣助五段（新退教三南支部）
- 三位 鈴木信義四段（新高退新津支部）

○新退教の北プロ大会出場者

- Aクラス 澤田芳郎（上越支部）
- Bクラス 石田欣一（上越支部）
- Cクラス 山岸欣助（三南支部）

「連合新潟高齢者協議会」は

「新潟県退職者連合」に

7月22日に、新潟駅前のガレソンホール
にて、連合新潟高齢者協議会の総会（新退
教は代議員10名参加）が開かれた。

来賓 泉田裕彦 県知事

森 裕子 参議院議員 他4名

活動報告によると、昨年12月、新潟県に
「介護保険制度充実のための要請」を行い、
その後、地域協議会も管轄エリアの市に対
し、要請活動を展開している。

議事でのポイントは2つ。第一は名称変
更。退職者の「高齢者」への違和感払拭等
の理由で、「新潟県退職者連合」に改称した。
第二は大幅の収入減への対応。会費の値
上げは行わないで遣り繰りする方法を検討
し、来年度総会に提案する。

☆ホームページ「新潟県退職者連合」

<http://koueikyoku.niigata.jp/>



こんにちは 新教組です

がんばれ後輩！



執行委員
石津真澄
（上越支部南川小分会）

今年の人事委員会報告に、初めて教職員の
多忙化解消が盛り込まれました。公正中立な
第三者が、多忙化が問題と認識し解消に向け
た取組が必要、としたことは大きな意味が
あります。国や県が教職員の多忙化解消に
踏み出したこの機会を逃さず、取り組んで
いきます。



執行委員
白井健元
（長岡支部脇野町小分会）
（長岡市 在住）

少子化で学校統廃合が進み、教職員が減っ
ています。今年度初め、組合員が初めて1万
人を割り、9973人（組織率76.1%）から
スタートでした。10月末には、342人の新規の
加入で78%になりました。先輩たちが築いて
きた新教組を次世代に引き継ぐため、更なる
組織強化を図ります。

会員の広場



一風変わった科学館

「森の学校」キヨロロ

館長 村山 暁

十日町市松之山に、大地の芸術祭とコラボした一風変わった科学館がある。錆びた鋼板で覆われている2003年に開館した越後松之山「森の学校」キヨロロである。

この施設は参加体験型の地域活性化拠点施設としてキヨロロに常駐している3人の博士とともに、地域住民や都会の方との交流や体験を通して、地域の自然や文化について改めて意味付け意義付けをし、世界に発信している里山の小さな博物館である。

たくさんの体験イベントを企画しています。ぜひ一度ご来館を！
(隣は美人林)

直江津の捕虜収容所跡地

山岸 修

北プロ総会参加者と訪れた。戦争中、国内に91か所(県内7か所)の捕虜収容所が設置されたが、直江津の収容所はその一つ。

新退教通信155号&157号に、「怨念の捕虜収容所が平和友好の光の発信地に」と題する「元直江津捕虜収容所の平和友好記念

像を立てる会」実行委員長であった下村省一氏(元大手町小学校長)の特別寄稿が掲載されている。様々な妨害や脅迫を乗り越え、戦後50年目に平和友好記念式典にこぎつけた世紀の偉業に感銘した。平和記念公園&展示館をぜひ訪れてほしい。(上越市HP参照)

「譲ってください・譲ります」

〜どなたでも掲載可〜

☆麻雀関係(牌・机等)を寄付していただける方、新退教事務局までご一報ください。

(ことぶき講座「健康麻雀」開設のため)

「募ります」

*「サークルやイベント等、支部内では人数が足りない」という方、当欄ご利用を。

「ミニ情報」



○会員夫妻の「ぎやらりー浜つばき」(☎0256-77-2013開館土日月祝)、12/10〜26: 阿部ともこ・志田みゆき・井上正子3人展
「きらめく贈り物」、1/7〜2/27: 「浜つばき・はま展」テーマはま (友男)



執行委員

松田 朋子

(長岡支部浜海小分会)

(長岡市 在住)

政府主導による教育施策や点数偏重の学力観が、子どもや教職員を追いつめています。これらは、学校を差別・選別の場へと変質させます。私たち新教組は、子どもの思いや願いに寄り添った教育実践を進めていきます。ご支援よろしくお願ひします。

がんばれ新教組!

◇県内ジオパークは3つ。ユネスコ世界ジオパーク①糸魚川、日本ジオパークの②佐渡と③苗場山麓。(糸魚川市のフォッサマグナミュージアムで「とっておきのヒスイの話」改訂第5版が販売。700円)

◇1997年、新教組は小・中学生用平和教育資料として『平和をまもるー直江津捕虜収容所の悲劇を越えてー』を発行している。(B5版、80頁)

◇柏崎市の絵本作家かんべあやこさんは、柏崎市を舞台に、コウモリの「モリくん」絵

本シリーズを5冊描いている。最新刊は『モリくんのいちごカー』くもん出版。

◇新潟市秋葉区小合地区の元PTA会長・新藤幸生さんが、8月に冊子『おおきなお世話』を発行。地域の子育て応援として、小合の歴史や人物等をまとめたもので、内容が豊富。(A4版54頁)



○新潟市西区上新栄町に「ミニ特養と小規模多機能型居宅介護」事業を担う「社会福祉法人けやき会」の設立を目指し、2017年度新潟市介護保険事業計画に応募しようとする準備会を発足させ、会員と寄付金を募っている。(問合せ先)025-260-7798)

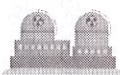
○福祉・生きがい・仕事おこしがスローガンの「ささえあい生協」は今年が創立十周年。小規模多機能型居宅介護事務所等を運営し、介護や福祉の相談に応じている。本部は新潟市西区小針南台3 ☎025-378-6181

○職業別平均寿命ランキング(郡山女子大森一教授、1983〜87調査) ①僧侶79.5歳 ②弁護士78.6歳 ③歌手77.6歳 ④政治家76.4歳 ⑤医師75.9歳 ◎僧侶: 読経・座禅・運動・おかゆ・豆腐等

*福島原発事故後、お詫びや節電以外のCMを自粛していた東京電力。しかし、昨年6月から県内限定CMを再開。避難者らへの配慮が足りないのでは？

*原発の耐震設計は地震一発しか想定していない。熊本地震のような連続発生地震に対し、柏崎刈羽原発は大丈夫なのか？ 自然は想定外の事態を引き起こす…。

*福島第一原発事故の被災者らが東京電力に対し、柏崎刈羽原発の再稼働差し止めを求めている新潟地裁での訴訟、第18回目は来年2月9日に開かれる。



*原発基準地震動の計算について、地震動の専門家がいらない原子力規制委が、専門家ぞろいの地質調査委の意見を聞かず、09新方式を採用しない。おかしいことがなぜ通用するのか。危険極まりない。

*9/15、青山葬儀所。加藤紘一氏の葬儀後の帰り際、師弟は90秒並び立った。

小泉「原発、なんでゼロにしないんだよ」

安倍首相(微笑、黙礼)

小泉「原発ゼロのほうが安上がりなんだよ。」

こんな簡単なことが、どうしてわかんねえかな。ゼーんぶウンだぞ、経産省が言ってるの。原発推進論者が言ってるの、みーんなウン。だまされんなよ」

安倍(苦笑、再拜。低頭のまま公用車へ)

〜10/3「風知草」より〜

*国際ジャーナリスト組織「国境なき記者団」の2016報道の自由ランキングで、日本は前年の61位から72位に順位を下げた。(表現の自由を巡る国連調査は昨年予定されながら、政府の要請で突然延期…)

「ご応募、お待ちしております」

☆ミニ情報等: 1000字、他は2000字
ペンネーム可、掲載者に図書カード進呈
☆送り先 〒950-0965 *FAX可
新潟市中央区新光町七一四 新退教

編集後記



師走です。今年も様々なことがありました。また一つ齢を重ねますが、「希望の波をとらえ」心はいつも「青春」でありたいものです。どうぞよいお正月を。(山岸)